

10月20日・北区立赤羽北区民センター
2014年度活動方針案等を承認

「タクシー関係三法案」制定へ向け運動強化！
賃金・労働条件改善へ全力を尽くす！



▲挨拶をする菊池執行委員長代行



▲報告内容に聞き入る組合員の方々

第三十九回東洋交通労働組合定期大会が、十月二十日(日)北区立赤羽北区民センターにおいて開催されました。

福島書記長が開会の挨拶を述べた後、大会議長に鈴木正徳氏、大会書記に高田知義氏を選出しました。続いて資格審査委員・大会運営委員選出が行われ、執行部より筒井守氏、中央委員の佐藤幸雄氏、野村朗氏、古川雅彦氏、新井義晴氏の五名が選出され、互選により筒井守氏が同委員長に選任されました。

●菊池執行委員長代行挨拶

菊池執行委員長代行の挨拶では、まず昨年一月十六日に逝去された田島委員長からの意思を引き継いで、今まで行なってきた運動について次の様に述べました。『タクシー関係三法案』何としてでも制定させる！

「昨年一月、田島委員長が逝去され、組合員の皆様の支えによって委員長代行としての役割を果た

す事が出来ました。この場を代表致しまして感謝申し上げます。我々労働組合は労働者の賃金労働条件の改善と、社会的地位の向上を目指し、法律を強化するよう運動を進めて参りました。2009年に『タクシー適正化特別措置法』が施行されましたが、減車を行わない事業者の居直りを許す等、この法律には強制力がなく、規制緩和によって30年前の水準まで落ち込んでしまいました。賃金労働条件の改善をするには、『需給調整規制』と『同一地域・同一運賃』を実現するための新たな法規制が必要です。今臨時国会で制定されるであろう『タクシー関係三法案』を、なんとしてでも制定させる事が必要です！

今後『草の根的な運動』を！

「私達は継続して利用者と世論に訴える運動を進めてまいりました。八月頃からタクシーの新たな再規制法案について、新聞記事やテレビのニュース等で取り上げられるようになり、田島委員長が良く言っていた『労働組合は草の根的運動をしなければ世間に理解を得られない』という言葉の重さを実感しました。何故、再規制が必要かは、私達が声をあげ、世論に訴えないと理解はされません。今後今以上に労働者の代表として声をあげてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします」

今まで先輩方が築き上げてきた『労働条件』は守る！

「東洋交通では、前部長が異動になり、日本交通から新しい責任者が来た事をきっかけに、様々な憶測や噂話が悪い風評と

なり、多くの仲間が退職する騒ぎになりました。この悪い噂話を信じたのか、自己都合なのかはわかりませんが、少なくとも自分が一社会人としての判断をするときには、自分の頭で考えて頂きたい。東洋交通に入社して来る殆どの方は、日本交通というブランド力、日曜定休及び大型連休があり、年間乗務シフトが確定しているという他社にはない好条件で入社されています。基本給も都内で一番高く、この様な労働条件は我々の先輩が今まで積み上げてきた物で、日本交通資本になっても強固に守り続けているものです。これからも勿論、守り続けていきます！

「現行の賃金体系は、努力して營收が高い乗務員の賃率は他社と比べて低く、營收が低くハントル時間だけをこなす乗務員が得をしているのも事実です。後ほど『未収金手数料撤廃』に伴う『賃金改定』の提案がありますが、頑張って努力した者が報われず、努力しない者が得をしているなんて黙っている訳にはいきません。皆が労働者としての義務を果たして、質の良い労働力を提供していれば、東洋交通の労働条件を守り続けることは可能ですし、より良く改善する事だって出来るはずです」

努力したものが報われる賃金を！

「先月、二年数ヶ月ぶりに運送収入が0.5%減収した一方で無線配車実績は前年度より4%以上伸びています。利用者は、タクシーを選んで乗る時代になっている事は間違いありません。皆さんは無線が鳴れば必ず応答して、日本交通を選んで頂いたお客様に対してまた利用したいと思う接客をして頂いています。しかし、義務を果たさずに、好き勝手な事をしていては利用者に理解されません。配車は必ず応答し、安全確実にお客様を目的地にお送りする。公共交通機関としての義務であり、使命です」

減らない事故件数

「安全マネジメント活動では今期の無事故チームはたった2チームだけでした。事故件数は昨年よりも60件の増加でした。去年、交通共済の給付金額や給付回数減らしましたが、そのまま給付していただければ間違いなく破綻してしまいました。事故の報告を聞く度に、事故のない日は殆どないので、何がかけているのかといつも考えさせられます。既に2期目の安全マネジメント活動が始まっていますが、1期目の反省、総括を教訓化し、お互いに意見を出し合い、事故違反を減らすアイデアを出し合う協力して頂きたいと思っております」

来賓あいさつ

続いて来賓の紹介が行なわれ、東京ハイタク労働書記次長・酒井博氏、日交労働委員長・伊藤実氏、赤羽支部・曾我央支部長より挨拶がありました。

【裏面へ続く】